

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉の原理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期 木1, 2	教室名	
担 当 教 員	増田真一					
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>①「障害者に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解する。 ②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに精神障害者の生活実態について学ぶ。 ③精神疾患や精神障害を持つ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識を持つ価値観を体得する。 ④精神障害者への対応について、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値観を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 ⑤現在の精神保健福祉士の基本的枠組み(理念・視点・関係性)と倫理綱領に基づく職責について理解する。 ⑥精神保健福祉士と規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。 ⑦近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験:70% 出席評価:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>新・精神保健福祉士養成講座5「精神保健福祉の原理」 中央法規出版</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のある疾患や内容、精神保健福祉について自分で学ぶ。 ・副読本や授業で配布する資料に目を通す。 						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次は基本のマスターが重要です。用語の意味を覚え、精神保健福祉士の専門性を見つけながら学習しましょう。 ・記憶だけでなく理解するように心がけ、判らない点は質問して下さい。興味のあることを見つけることが重要です。 						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉の思想と原理について説明できるようになる。	テキスト		事前に予習
		各コマにおける授業予定	優生思想と社会防衛思想、基本的人権の保障、社会正義の実現、法の下での平等			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉の理念について説明できるようになる。	テキスト		同上
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション、ノーマライゼーション、エンパワメント、自立生活、機会均等、インクルージョン、ストレングス			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉の歴史的展開について説明できるようになる。	テキスト		同上
		各コマにおける授業予定	基本的人権の保障(自由権と社会権)、自立支援、社会参加支援、消費者としての権利保障			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類について説明できるようになる。	テキスト		同上
		各コマにおける授業予定	ICIDH、ICF			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	制度における「精神障害者」の定義について説明できるようになる。	テキスト		同上
		各コマにおける授業予定	障害者基本法、障害者総合支援法、精神保健福祉法			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 精神障害の障害特性について説明できるようになる。	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 ICFモデル、蜂矢モデル、上田モデル、主観的体験、当事者の語りと対話、社会構成主義、障害の可逆性、生活しづらさ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 諸外国の動向について説明できるようになる。	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 ピアーズ、魔女裁判、ピネル、精神障害者の保護及び精神保健ケア改善のための諸原則		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 イタリアにおけるバザーリアの精神医療改革と日本と諸外国の共通点や相違点が説明できる。	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 イタリアにおけるバザーリアの精神医療改革、日本と諸外国の共通点と相違点		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 相馬事件とライシャワー事件について説明できるようになる。	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 相馬事件(精神病患者監護法、精神病院法、呉秀三)、ライシャワー事件(精神衛生法の改正)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 宇都宮病院事件と大和川病院事件について説明できるようになる。	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 宇都宮病院事件(精神保健法、指定医)、大和川病院事件(精神保健福祉法における入院制度、地域移行)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 池田小学校事件と相模原事件について説明できるようになる。	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 池田小学校事件(医療観察法)、相模原事件(措置入院の運用等の整理)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 日本の社会的障壁について説明できるようになる。①	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 欠格条項、強制不妊手術、保健体育の教科書等、古典的偏見と制御可能型偏見		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 日本の社会的障壁について説明できるようになる。②	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 コンフリクトの種類とレベル、人権侵害としての施設コンフリクト、アンコンシャスバイアス		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 日本の社会的障壁について説明できるようになる。③	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 アルコール、薬物問題の取締法と刑罰の優先、自己責任論と受療への障害		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 精神科医療の特異性について説明できるようになる。①	テキスト	同上
		各コマにおける授業予定 強制入院、治療、精神科特例、病床数と在院日数、社会的入院		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉の原理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期 木1,2	教室名	
担 当 教 員	増田真一					
《授業科目における学習内容》 <small>①「障害者に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解する。 ②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに精神障害者の生活実態について学ぶ。 ③精神疾患や精神障害を持つ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識を持つ価値観を体得する。 ④精神障害者へのからむわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 ⑤現在の精神保健福祉士の基本的枠組み(理念・視点・関係性)と倫理綱領に基づく職責について理解する。 ⑥精神保健福祉士と規定する法律と倫理綱領を把握し、次の3年間の職能や役割を理解する。 ⑦近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。</small>						
《成績評価の方法と基準》 定期試験:70% 出席評価:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 新・精神保健福祉士養成講座5「精神保健福祉の原理」 中央法規出版						
《授業外における学習方法》 ・興味のある疾患や内容について自分で学ぶ。 ・副読本や授業で配布する資料に目を通す。						
《履修に当たっての留意点》 ・1年次は基本のマスターが重要です。用語の意味を覚えましょう。 ・記憶だけでなく理解するように心がけ、判らない点は質問して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神科医療の特性性について説明できるようになる。②	教科書	教科書範囲を事前によく読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	隔離、身体的拘束、多剤併用、長期入院と施設症など			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の家族について説明できるようになる。	教科書	同上	
		各コマにおける授業予定	保護義務者の歴史、家族とその生活実態、家族の多様性			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の社会生活について説明できるようになる。	教科書	同上	
		各コマにおける授業予定	居住形態、家族の同居率、生活保障、就労状況、メンタルヘルス、ストレス、人と環境の相互作用			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の資格化に至る経緯について説明できるようになる。	教科書	同上	
		各コマにおける授業予定	精神医学ソーシャルワーカー協会の設立、Y問題、倫理綱領の規定の経緯、資格化までの経緯			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉の原理と価値について説明できるようになる。	教科書	同上	
		各コマにおける授業予定	社会的復権と権利擁護、自己決定、当事者主体、社会正義ごく当たり前の生活			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉の観点と視点について説明できるようになる。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	人と環境の相互作用、生活者、エンパワメント、リカバリー、アンチスティグマ、ハームリダクション		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉の関係性について説明できるようになる。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	加害者性、援助関係、間主観、協働関係		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉法について説明できるようになる。①	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉法制定と改訂の経緯、法の目的、定義		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉法について説明できるようになる。②	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	義務規定、誠実義務、信用失墜行為の禁止		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉法について説明できるようになる。③	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	秘密保持、連携、資質向上の義務、社会福祉士及び介護福祉士法と精神保健福祉士法との関係		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の職業倫理について説明できるようになる。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	倫理綱領、倫理的ジレンマ、専門職団体の意義と役割		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の業務特性について説明できるようになる。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	価値、理念、視点、知識、技術による業務構成、マイクロ・メゾ・マクロの連続性、連携における精神保健福祉士の役割		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の職場・職域について説明できるようになる。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	配置状況、医療、福祉、行政、教育、司法、産業等		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉士の業務内容と業務指針について説明できるようになる。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉士の業務指針及び業務分類、指針に基づく業務の展開例		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	ここまでの振り返りと総まとめで、要点の説明できるようになる。	教科書	同上
		各コマにおける授業予定	ここまでの振り返りと総まとめ		